



一般社団法人 埼玉私保連

広報

No.158

R6.9月

発行

明日はきっと晴れるね



第50回定期総会開催 埼玉私保連研修会報告 他

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

埼玉県私立保育園連盟

第50回定期総会



迎えること第50回、節目の記念すべき定期総会が5月23日に埼玉会館で開催されました。小嶋会長の挨拶でも対面式の開催に感謝の辞が述べられ、来賓の方達からもたくさんさんの祝辞をいただきました。

議案中の事業報告では小嶋会長より職員の「処遇改善」「労務軽減」「地位向上」のための要望活動、そして県内児童の処遇向上等の目標が述べられました。他では定款の一部変更なども承認されました。

考えてみますと50回という数字はたいへん意義深いものです。半世紀にわたり埼玉私保連の先輩たちが保育運動に尽力され今があります。そうした先達の思いを胸に、これからも受け取ったバトンをしっかりと次につないで参る所存です。

埼玉私保連ではこの50周年を記念して、年が明けた1月11日(土)ウエスタ川越で記念講演を予定しております。詳細は追ってお知らせいたしますので皆さまぜひともお越しください。

(広報部)



全国私立保育研究大会 栃木大会

第66回全国私立保育研究大会栃木大会が、6月5日～7日宇都宮市を会場に開催されました。全国から保育関係者1、700名が集い、とても盛大な大会でした。2日目には各会場に分かれて分科会が行われ、第6分科会「食育 生きる力を育む食文化」では、会員園である小川保育園・小川つ子保育園の発表がありました。

〔発表要旨〕 自然豊かな小川つ子保育園では「農家保育園」をテーマに保育園生活の中に農作業が取り入れられています。子どもから大人まで全員が役割を持ち、助け合いながら安全で美味しい農作物を自分たちの手で作ります。食材にはこだわりを持ち、特にお米作りに力を入れ、年間田んぼ計画を保育計画・給食計画に連動させ、まさに園をあげての食農保育の取り組みです。地域の農家さんとも繋がりが子ども達・職員が手間暇かけて数多くの農作業をこなしていく報告は圧巻でした。アイガモを使った除草、残飯からのた

い肥・土づくり、次年の種作り…。農作業を通して自然を感じ、仲間と働く中で生きる力を学ぶ。小川・小川つ子の保育はまさに畑・田んぼの中に、自然の中にあつきました。

発表園の取り組みには会場から大きな拍手が起きました。小川保育園・小川つ子保育園さんお疲れ様でした。ところで、わたくし栃木県といえは日光、足利学校といった自然・文化遺産、それに餃子やイチゴといったイメージはあるものの、正直他にピンとこなかったのですが（ごめんなさい）、今回の参加でそのイメージが一新されました。文化都市・ライトキューブ宇都宮で知見を広げ、夜のバーでカクテル片手にジャズに酔いしれ、餃子その他の御馳走をたらふく頂き、さらにかわいい電車（ライトライン）まで見る事ができて、宇都宮が大好きになりました!! 何がメインだったか分からないなか、わたくしの報告は終わります。

（広報部）



第1回研修部研修会

「保護者とのリスクコミュニケーション」

日時 2024年6月26日(水)

場所 埼玉会館7A会議室

講師 寺町東子氏 (弁護士・社会福祉士・保育士)

「人間と人間のコミュニケーションにおいて何が大事か」

日本国憲法第13条では「すべて国民は、個人として尊重される(個人の尊厳)」とある。また日本国憲法第24条と「世界人権宣言」「国連人権条約」に共通して定められていることは、「個人の尊厳」ということである。1人1人違う人間だけどもみんな大事な存在だということが、お互いに尊重しあう関係であり、コミュニケーションの基本である。

人間は自分の尊厳が傷つけられた時に怒ったり、落ち込んだりする。コミュニケーションがうまくいかない時は、相手の尊厳を傷つけていないか、相手のどういうところに傷ついたのか、何にこだわっているのかを考えると、自分の気持ちも相手の気持ちも理解する一步を踏み出せる、ということがまず述べられました。

「日常のコミュニケーションの大事さ」

① 保護者から尊敬、信頼を得る。

「保育園は教育をしていない」という誤解がある。「保育のサービス化」によって、保護者が子どもを園と一緒に育てる意識よりも消費者の意識が強くなっている。ここをクリアしていくために保育指針をよく読み解き血肉化することが大事である。

2018年(平成30年)の改正では、保育指針と同じ大臣告示であることも園指針・幼稚園指針も未就学の子どもに対してどういう教育を提供するかが統一された。ここからなぜこういう教育をしているか、その根拠を指針に照らし合わせて保護者に説明する、語れるようになることが大事である。

目の前にいる子どもの姿、集団的な子どもたちの姿を観察し、指針とのギャップをどう工夫していくか、日々の保育をどう展

開していくか。それを計画に沿って、見通しを持って保育していることを説明することが保護者の安心感に繋がる。研修・現場での振り返り、語り合える場があるか、そうしたものが日々のスキルの向上では大事である。保護者からの尊敬と信頼を作っていくってほしいとのことでした。

② 保護者に見通しを持ってもらう

子どもに出来るが増えて、体を動かせるようになっていくと視野・世界が広がっていき自由になっていく。それと同時に危険も増えてリスクも増えていく。子どもの年齢の発達段階でこういう特徴があつて、それに伴ってトラブルもケガも出てくるといふことを予め伝えておくことが大事である。物の取り合い、手が先に出してしまうのは、友達を含めた他者を認識した行動である。トラブルの中にある子どもの発達を言語化して親に伝えていくことが大事で、マイナスの部分のプラスの部分、プラスの部分のマイナスの部分を日々伝えていくことをしてほしいとのことでした。

【説明の場面を設定する】

○入園時、懇談会、おたよりで(全体)

園で行っていることを説明する。例として、熱中症の対策、



配慮をどうしているか等。

○保育について語り合う場で
(中間)

保護者主催でもよい。自由参加、任意でよい。ワークシヨップみたいなもの。担任だけではなく、色々な保護者との語りの中で理解を深めていく。一対一だと対立関係になるので「ななめの関係」があるとよい。

○朝夕の挨拶会話で(個別)

なんとなく話ができる人、聞いてくれる人がいるとよい。担任以外の先生も中にいるとよい(ここでも「ななめの関係」があるとよいとのこと)。

【保育とは? 保育園は「教育」していない?】

保育所保育指針の中で、「保育所は養護及び教育を一体的に行うことを特性としている」とある。養護とは①生命の保持、②情緒の安定、どちらにも共通していることは、一人ひとりを大事にするということ。遊びや生活を通した教育をしているのが保育園。その中で主体的で対話的、応答的な関わりを通して学びをしていくのが保育園の特徴である。「養護」の考え方の中に、子どもがこれから生きて行く上で大事な力が重なっている。

今の世の中、テクノロジーが発達する中でより人間が自分で

感じとって考えて行動する力が必要になってきている。機械ができないことを人間がやる。機械がやることは機械がやる。では人間しかできないことは何だろうか? それは人間の感情で読み取ったり、感情に対して働きかけたり、自分の感情をコントロールできたり、他の人と協力できたりすること。これからの時代はそういうことが求められている。子どもたちに非認知能力を伸ばしていくことが求められている。それを行っているのが、詰め込み型教育の小・中・高ではなく、保育園・幼稚園・こども園である。遊びの生活から学ぶということに大きな意味がある。

親世代は今の日本に希望を持ってない、将来が良くなるとは思えないというアンケート結果が出ている世代である。その人たちにとり自分の子どもが将来どうやって自立して幸せに生きていくのかは一番大事なことである。いい大学、いい会社で人生バラ色とはいかないことが分かっている世代だから。保育園でやっている教育が、生きていく力そのものだということや、保育園で非認知能力を子ども同士で遊びながら育てているということが響くのではないだろうか。保育園でこういう教育をして、こういう力を伸ばしている。そ

れは先々で人生を支えていく力になるのだということをアピールしてほしいとお話でした。

【保育園で起る事故】

命にかかわる事態とは...

① 身体の生存(不慮の事故の予防)

- ・体の枢腰部にダメージを受けた時は自己判断しない。救急搬送、医療受診。
- ・記録をとる。
- ・事故が起きた時の園での対応を重要事項に記しておく。知らせることで誤解が信頼のベースとなる。

② 心の生存(自殺予防・児童虐待・いじめ)

- ・親以外に自分を大事にしてくれる大人がいると大人への信頼感を持つ。
- ・日常保育の中で、命にかかわる事態ということを先生たちが意識して一人ひとりを大切にする。

・「いつもと違う」ことをスルーしない(大切にすること)

・他機関(発達相談・観察)と連携していることを前もって説明しておく。

といった内容を話されました。講演後、グループに分かれ、事故とその対応の事例をもとに、討議を行いました。

(研修部)



給食研修会

〜作って・食べて・情報交換〜

インスタクターによるコンベクションを使った実践研修
「上手に活用！離乳食からアレルギー対応まで」

日時 令和6年8月31日（土）
会場 三郷ひだまり保育園

台風10号が接近し交通網などの停止も心配していましたが、無事研修会を開催することができました。

毎年恒例にしている給食従事者の研修会ですが、今年度はコンベクションの活用をさらに充実し、業務軽減並びにおいしい給食づくりの為の内容をテーマにした研修会としました。

専門的な知識と調理を担い提供する立場を理解している方に依頼したいと思い、今回の講師としてコメントカトウ・クッキングアドバイザーの小山七生先生をお招きしました。また、4品の実践を通して学ぶ形式と交流を目的としての学びの選択制として実施しました。

毎年、研修会後の参加者の皆さんからは、交流会がとても意味があり、様々な情報交換を通して現場へ持ち帰るものが多く、日頃は栄養士・調理師としての

専門職は園に多く所属していないことから、共通の話ができることがとても励みになっている等の声を聞くことがよくありました。その為、今回は情報交換の時間を十分に設ける内容としました。（4つのレシピをグループに分かれ調理をし、調理に参加しないときは情報交換会とするスタイルで実施）

研修会場が保育園の厨房だったこともあり、総勢17名の給食の先生方でのアットホームな研修会となりました。日頃からコンベクションを活用しての調理を行っている中での研修ということで、皆さんからのお悩み相談や質問などが、給食室内から途切れることがありませんでした。講師の小山先生とのやり取りがあり、アドバイスを頂くとびにメモを取る姿がありと皆さん真剣に取り組んでいました。「なるほど」「あー」「うんうん」と給食室内は最初から最後まで活気に満ち溢れた時間が経過していたように感じました。

情報交換会では、話しやすくする為にいくつかテーマを設けるようにし、各園での様子や離乳食への提供、アレルギー対応衛生管理的な内容も話し合うことで各園の取り組みについて発表を行っていました。

情報交換会の内容の一例

① 離乳食についての質問から、

たんぱく質は後期から提供しているが他園はどのように実施しているか。

② 検便は、給食従事者並びに調乳を行う保育士のみ実施している。他園ではどのようにしているか。

③ 各園で職に対するこだわりやコンセプトを持って提供していることが分かった。

（例：乾燥わかめは使用していない。トウモロコシは旬の夏場は茹でてほぐし活用している。缶詰などは使用しない。）

④ 果物について、消毒はしているか。（水で洗っている園と次亜塩素酸を使用している園と分かれた。）

また、果物は毎日提供しているか。（物価高騰などの影響もあるようで今後は提供回数、数の検討などを行っている園もある。）

⑤ 牛乳は使わずに豆乳を使用

している。

⑥ 行事とのコラボを大切にしながら、保育士との関わりを持つて提供している。

⑦ 季節の野菜や果物を出している。魚は骨ありの物を提供している園がある（幼児組）。

以上、情報交換会での皆さんからの意見を記載してみました。

また、コンベクション活用についての質問・回答についてお伝えします。

① ホットケーキの仕上がりで、真ん中がへこんでしまう。良い方法はあるか。

↓ホットモード100度で5分、その後通常の手順。クッキングシートなどを使用しふくらみを抑えるとよい。

② スチコンは、天ぷらの時活用できるか。

↓不可との回答。

③ 冷凍うどんをおいしく仕上げる為には、どのようにしたら良いか。

↓風量調節を行い乾燥を防ぐことが一番のポイントとのこと。また、乾燥を防ぐ為に鉄板を上に乗せ調理すると良い。大量調理する場合には、何回か鉄板を使用することになるが、コンベクション活用が早く手間がかからないとのこと。

④ パン粉焼きをもっとおいしく仕上げる為のアドバイスはあるか。

↓ホットモードを基本に200度で5分ほど。

⑤ お餅はできるか。

↓もち米を蒸かす時の浸水の量を計算し、水分量の調整を行うことで可能です。(レシピ本参照)

⑥ 薄焼き卵の作り方のポイントはありますか。

↓薄焼き卵はコンビモード170度、オーブンシートを挟む。

実習、情報交換、講師の先生からのアドバイスに加え、埼玉県私立保育連盟の協賛企業でもある、サンワールドも参加して頂き、無添加で安心なおやつや調味料などの説明とサンプルも頂き会場は賑わっていました。

毎年行っている給食従事者の研修会ですが、保育士と比べて研修会の数も少なく、各園に栄養士や調理士は1名ほどの配置となっていることが多い為、できるだけ外部に出て情報共有や交換をして頂けることが何よりの専門職としてスキルアップになると感じています。

また次回の研修会でお会いできることを楽しみにしていますので、ぜひご参加下さい。

(青年会議)

一 埼玉県へ要望書提出

7月29日(月)の午後、小嶋会長はじめ役員数名が県庁を訪れ、福祉部こども支援課へ「令和7年度保育関係予算要望書」を提出してまいりました。

職員処遇の改善を要望するとともに・利用定員の変更をスムーズに行えるようにすること。・一歳児および〇歳児担当保育士の予算化。・民間所長会議の実施などが盛り込まれました。

その足で議員要請行動(県議訪問)を行い、共産党県議・無所属県民の会・自民党県議などをまわり現状を話すとすべての議員が熱心に耳を傾けてくださいました(後日、公明党との意見交換会もあり)。特に県の障害児保育事業廃止の件については共感されて、県への何等かの働きかけがありそうです。

今後、10月28日(月)には県面談も予定されています。



事務局 (一社)埼玉県私立保育園連盟
〒363-0015 桶川市南2-7-13 桶川中央マンション2F
TEL 048(772)8623
FAX 048(772)8635

【全私保連推奨】各種団体保険制度



有限会社ゼンポ



公益社団法人
全国私立保育連盟



東京海上日動

ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）

「国賠償責任保険（新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯）」
「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」など、保育施設に
おける最大リスクを補償する1番の主力保険制度です。

やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）

Web
加入
可能

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

しょうがくせいのほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）

Web
加入
可能

24時間のおけが等からお守りすることに加え、自転車条例で義務化されて
いる個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱
代理店

有限会社ゼンポ

TEL: 03-3865-3881

FAX: 03-3865-2806



引受
保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このチラシは、このご案内は施設責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・金銭盗用賠償責任保険・レピュテーション費用補償・レピュテーション費用特約付帯・賠償・利益保険・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（傷害保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険会社のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約書である公益社団法人全国私立保育連盟に加盟する保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定 東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

TEL 03-3865-3881

FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区浅草4-1-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！

全国私立保育連盟推奨（総代理店）

導入費用
無料

きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは
伝えきれない園での豊かな活動、
子どもたちが自ら学び・育つ姿を
「見える化」するアプリです。

保育者の
業務
省力化

子どもの
学び・育ちの
見える化

緊急時の
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！

利用しやすい価格に
なりました！

年間一括利用料6万円

ひと月
あたり 5,000 円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金が変更になる可能性はございます。

詳しくはお問い合わせください。

＜担当者：菅沼、佐藤＞